

9月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和3年9月末現在〕

令和3年10月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで改善した。

業種別では、製造業では「売上高」は悪化したが、「景況」、「収益状況」は改善した。非製造業は「景況」、「売上高」、「収益状況」全てで改善した。

新型コロナウイルスの感染拡大による、緊急事態宣言等の外出自粛等の影響も残るが、市町村のプレミアム付商品券の利用等により非製造業の売上高が改善し、全体の数字を押し上げた。一方で、原料や燃料等の値上がりの影響により、収益の改善は鈍い。

景況DI

製造業は、前月比で11.5ポイント改善の▲30.8ポイント、非製造業は、前月比増減なしの▲45.8ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の▲38.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.9ポイント悪化の▲30.8ポイント、非製造業は、前月比33.4ポイント改善の▲20.8ポイント、全体では、前月比14.0ポイント改善の▲26.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比11.6ポイント改善の▲34.6ポイント、非製造業は、前月比8.4ポイント改善の▲45.8ポイント、全体では前月比10.0ポイント改善の▲40.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品製造業	学校給食パン	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県独自の緊急事態宣言によるリモート授業、学校給食停止が実施され、9月いっぱい業務停止に追い込まれた組合員が続出した。学校給食を停止するということは、当業界だけではなく、保護者等への影響が深刻なものとなる。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県8月の清酒課税移出数量は、前年同月比75.9%であった。前月を上回る前年同月比マイナスとなり、コロナ禍前の前々年同月比でも67.6%の減でかなり厳しい。本格焼酎については、前年同月比72.8%であったが、前々年同月比では55.1%とさらに厳しい状況。当県を含め首都圏で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、酒を取り巻く環境は非常に厳しかった。清酒の輸出については、県や企業間で温度差があるもののコロナ禍で国内マーケットが不安定の中、輸出に力を入れて、令和3年7月の前年同月比輸出数量(全国ベース)は、153.6%と好調であった。コロナ禍が落ち着いている、香港・中国が好調で、香港・中国・米国で輸出の60%以上を売り上げている。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスワクチンの接種も進んできており、緊急事態宣言も解除され、外飲みの増加を期待している。飲酒の選択肢に品質が高くなっている地酒をアピールしていくことが課題と感じている。まずは地元茨城での地酒購入推進に注力する。
	納豆	新型コロナウイルスの影響等により、引き続き売上高等は低迷。緊急事態宣言が解除され、状況が改善されることに期待したい。原油高等による、配送費や資材(石油製品)等の値上げがあり、収益が悪化。また、最低賃金も引き上がるので更に厳しい見通しである。
	菓子	緊急事態宣言下でも、特別の行事(お彼岸等)がある時は来店客があるが、それ以外は客足が鈍い。
	漬物	コロナ禍の影響で全体的に消費が低迷している中、製造コスト(主原料、添加物、物流費)が高騰し、収益が悪化している。
繊維工業	袋物	9月も売上・収益状況等、全体的に悪い。10月からは緊急事態宣言も解除され、今後に期待したい。
木材・木材製品	製材	・製品不足も徐々に落ち着いているが、杉KD材の柱、間柱材は品薄状態が続いている。 ・ヒノキ材については、原木の供給等により価格の変動があった。 ・9月に入り、米松の荷動きは順調に推移している。
	県北地区プレカット	今月は今まで加工予定となっていた物件が、一斉に加工出来るようになった。売上、加工数量の今月の目標を達成できた。その反動か、10月の加工予定が少ない。今後、木材価格は仕入価格・販売価格共に高値で安定するのではないだろうか。
	県央地区プレカット	木材の高騰・品不足は変わらないが、加工物件数は微増であるが増えている。見積り件数も増加しているので、今後の工場生産の増産が見込めるのではないかと期待している。
紙・紙加工品	段ボール	今月の売上について、青果物向け商品は良かったが、一般向け商品が悪く、前年同月比や前々年同月比でマイナスの組合員が多い。糊やインク等の副資材が値上がりし、粗利が徐々に減ってきている。段ボールの原材料にあたる古紙も徐々に値上がりしてきており、今後が心配される。
印刷	総合印刷	前年同月と同じくコロナ禍にあり、売上高や業界の景況等は低調であり、前年同月比では不変であるが、コロナ禍以前の景況水準には到底及ばない状況が続いている。「紙への印刷」需要が大きく落ち込んでいる状況がコロナ収束後も続くことが予想され、中小零細印刷業者の不安感は大い。
窯業・土石製品	陶磁器	秋のイベントが一部中止となったが、代替のイベントを実施予定。また、感染者が減少傾向にあることも明るい材料である。
鉄鋼・金属	鉄鋼	今月は比較的順調な受注量であったが、前年同月がかなり持ち直した関係もあり、結果的には前年同月並みであった。建築資材関係は受注があり忙しいが、自動車関係は部品によっては、月あたりの通常の受注量の半分程度まで減少しており、今後も数か月続く事が予想される。 金属材料は全ての金属が値上がりしている。 工業薬品について、大きな変化はない。
一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比ですべて増加となった。全体増減率は前年同月比125%であった。前年同月がコロナ禍による売上大幅減少という要因があるものの、当月も前月に続いて直近5年間で最大の売上高を確保。組合員数は横ばいではあるが、業績は改善傾向が続いている。
輸送用機器	県北地区自動車部品	売上高(生産高)は増加傾向であるが、収益は若干悪化傾向である。業界状況については、やや悪化程度ではあるが、先行き不安な状況である。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比2.8%減少。前月と同様に、緊急事態宣言の延長による外食産業の時短営業等の影響や、旬であるサンマの漁獲量の減少等の影響が続いており、荷受業者・仲卸業者・買受人が共に厳しい状態が続いている。月末にサンマの入荷が多少伸びた事と、緊急事態宣言が解除された事に期待している。
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比24%の減少。前年同月が特需に恵まれ9%の増加であったこともあり、その反動で落込み幅は拡大した。
小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比110.7%、客数は同92.4%で、前年同月の売上を確保した店舗は26.6%であった。プレミアム付商品券の2次販売もあったが、その好影響は一部の店舗に偏ったようである。
	県央地区共同店舗	館全体の既存店売上(客数)は前年同月比111%(108%)、前々年同月比では売上は104%(102%)であり、食品115%(111%)、飲食111%(106%)、ファッション95%(99%)であった。9月1日より「笠間市プレミアム付き商品券」の利用により前年同月と比べると売上が好調であった(特に食品・飲食店が好調)。緊急事態宣言・非常事態宣言期間中の影響もあってか、服装・身周り装飾店舗は不調が続いている。9月16日に道の駅かさまがオープンし、週末は遠方からのお客様が増えたように感じる。
	県南地区共同店舗	コロナ禍の緊急事態宣言の中、9月に予定していたイベント・催事等が一切自粛となり、盛り上がりもなく1ヶ月を通して厳しい月となった。貴金属店で高額の特注が入ったため、前年同月の売上高は確保できたが、全体として内容は良くない。前年同月比で売上は全体100.8%、衣料品81.1%、文化品130.3%、食料品94.4%、飲食123.6%、サービス89.5%となった。前々年同月比の売上は全体86.9%、衣料品63.0%、文化品63.0%、食料品83.1%、飲食89.5%、サービス85.6%となった。
	家電	今月は高齢者宅家電安全点検巡回活動(サポーター活動)を実施した。通年の取組として、高齢者の様々な困りごとに対応し、リコール対象商品の発見にも繋げている。販売面は厳しかったが、「点検してもらいたい、安心して暮らせる」また、来て欲しいとの声を聞き、お客様の声が発端となった活動となった。
	燃料小売	前年同月よりガソリンの販売価格は上昇したが、原油価格上昇分の仕切値を販売価格に転嫁できずにおり、収益状況は悪化している。9月も緊急事態宣言が発令されている中で、後半は外出も増加したが、販売数量は前年同月比を下回った。
	中古自動車	販売台数は前年同月比88.4%、販売価格が同89.2%と10%以上の減少となったため、売上高は同78.8%と大きく減少した。半導体不足や東南アジア諸国のロックダウンによる部品調達の遅れが新車販売の低迷を長引かせており、下取車の減少による流通車不足が中古車販売市場に影響を及ぼしている。
	食料品	食品流通業により、新型コロナウイルス感染拡大の中での食のライフラインを担っているため、組合員の売上に関しては比較的好調に推移してきた。しかし、前年の巣ごもり需要の拡大の実績の影響を受け、今年3月からは前年実績から大きく下回ってしまった。9月は関東圏で新型コロナウイルスの感染者が減少してきたが、売上にはあまりいい影響にはならなかった。9月中旬から下旬にかけて、野菜の相場が上がってしまった事も大きく影響し、組合員の売上は前年同月比で96%と低調だった。しかし、これから本格的な秋・冬を迎えるにあたり、緊急事態宣言も解除されたので、巻き返しを図っていく。当然新型コロナウイルスの感染対策も万全にし、「安心・安全」な店にして、努力を行っていく。
	野菜・果実	9月は前年同月比で野菜果実合計で101%の取扱い高となった。8月の台風や長雨等の悪天候の影響が残っている中で、白菜等の需要の高まりもあり、今月上旬から中旬にかけてやや高値で推移した。その後は、台風などもあったが農作物には特別目立った被害は少なく、単価は徐々に落ち着きを見せた。多くの小中学校が新型コロナウイルスの感染拡大予防策として、9月中のリモート授業を採用したため、給食関係の納品をする組合員は、大きな影響を受けた。
商店街	筑西	緊急事態宣言の発令による休業及び影響時間短縮等で売上が減少したことに伴い、収益の悪化に繋がった。街中心地が夜8時以降は店舗等の灯りもなく、閑散としている。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が99.06%、軽自動車が102.18%であった。前年同月とほぼ同じとなった。
	ホテル・旅館	まん延防止等重点措置・緊急事態宣言のため、前年同月比で売上は2~3割減少、前々年同月比で5~7割の減少となっている。収益は減収となり、経営の継続が困難となっている。
建設業	総合	土木工事の発注が盛んである。前年度は建築工事に多くの予算が配分されたが、今年は逆となり、土木会社は繁忙、建築会社は仕事が薄い状態となった。これは、土木技術者が忙しく、建築技術者が暇を意味する。建築、土木の両方を行う会社でも内部で同じことが起きている。
	型枠工事	最近の需給状況は例年と変わらない。その中で、土木の公共工事は順調に発注されている。建築の民間工事は、新型コロナウイルスやウッドショックの影響でやや減少している。

非
製
造
業

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和3年9月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	
	一軽貨物運送	当月の組合員数は116名、車輛台数は148台で前月と比較して1名の減少、2台の減少となった。また、運送売上高については、前年同月比124%であった。全国連合会での当月の組合員数は7,294名、車輛台数8,667台で前月と比較して46名減少、52台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向の影響で、出荷物量はコロナ禍前の物量には戻らず、依然減少したまま継続している。一方、燃料価格は高値で推移しており、収益も更に厳しい状況にある。9月末で組合員1社が廃業のため、組合を脱退した。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	給食停止による休業補償
	清酒	緊急事態宣言も解除されたが、今後第6波の到来が懸念される。再度緊急事態宣言が発令されることがあれば、酒の供給側への行政からの追加の月次支援金等の財務支援の速やかな対応をお願いしたい。 また、ワクチンにより重症者が増えない状況であれば飲食店での酒の提供の禁止ではなく、酒類の提供に関する新たなルールの策定をお願いしたい。
小売業	県央地区共同店舗	店舗の退店により収入が減少している。協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金の情報を教えて欲しい。
	燃料小売	揮発油税に課税している二重課税の廃止。 緊急事態宣言解除後の経済回復策について。
建設業	総合	公共工事は基本的に1工事1人の技術者が専任を要求されるため会社規模より技術者数で受注件数が決まる。土木、建築工事の均等な毎年の発注調整が望ましい。
	型枠工事	改めて、建設業の大切さや魅力を発信していただき、求職者・特に若年者の人材確保に向けたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

月次景況調査 9月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比
景 況	▲ 38.0	▲ 44.0	6.0	▲ 30.8	▲ 42.3	11.5	▲ 45.8	▲ 45.8	0.0
売 上 高	▲ 26.0	▲ 40.0	14.0	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 3.9	▲ 20.8	▲ 54.2	33.4
収 益 状 況	▲ 40.0	▲ 50.0	10.0	▲ 34.6	▲ 46.2	11.6	▲ 45.8	▲ 54.2	8.4
販 売 価 格	2.0	▲ 4.0	6.0	0.0	▲ 3.8	3.8	4.2	▲ 4.2	8.4
取 引 条 件	▲ 12.0	▲ 22.0	10.0	▲ 11.5	▲ 23.1	11.6	▲ 12.5	▲ 20.8	8.3

中小企業月次景況調査(令和3年9月)DI値(前年同月比)

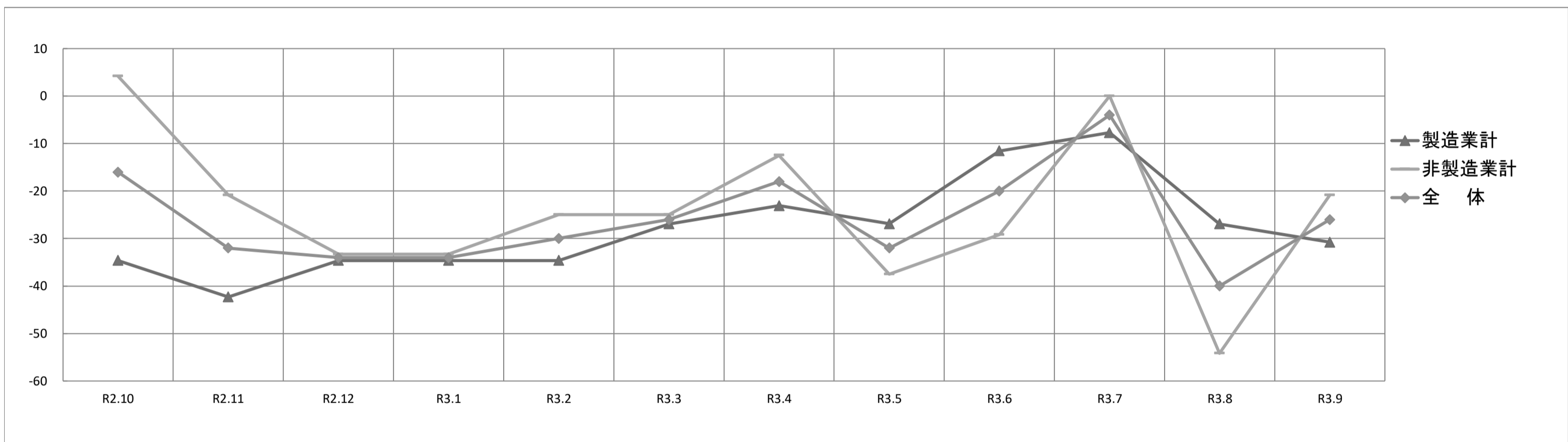
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 100.0	0	0	6	6	16.7	2	3	1	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 83.3	0	1	5	6
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	66.7	2	1	0	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
製造業計	△ 30.8	4	10	12	26	3.8	3	21	2	26	0.0	1	24	1	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 34.6	3	11	12	26	△ 30.8	1	16	9	26	△ 15.4	2	18	6	26	△ 15.4	0	22	4	26	△ 30.8	2	14	10	26	
非製造業	卸売業	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	X	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3				
	小売業 (商店街含む)	△ 25.0	3	3	6	12	△ 16.7	0	10	2	12	8.3	2	9	1	12	△ 25.0	0	9	3	12	△ 66.7	0	4	8	12	△ 33.3	0	8	4	12		△ 16.7	0	10	2	12	△ 58.3	0	5	7	12				
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2	X	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1		2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	建設業	20.0	1	4	0	5		20.0	1	4	0	5	20.0	1	4	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0		5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5			
	運輸業	50.0	1	1	0	2		0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0		2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	非製造業計	△ 20.8	5	9	10	24		△ 13.3	1	11	3	15	4.2	4	17	3	24	△ 12.5	1	19	4	24	△ 45.8	1	11	12	24	△ 25.0	0	18	6		24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 45.8	1	11	12	24			
全体	△ 26.0	9	19	22	50	△ 2.4	4	32	5	41	2.0	5	41	4	50	△ 12.0	1	42	7	50	△ 40.0	4	22	24	50	△ 28.0	1	34	15	50	△ 15.4	2	18	6	26	△ 12.0	0	44	6	50	△ 38.0	3	25	22	50	

D I 値推移表 (R2. 10月 ~ R3. 9月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 100.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0	10.0	▲ 5.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 26.9	▲ 30.8
卸売業	100.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	100.0	33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	9.1	▲ 16.7	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 8.3	▲ 66.7	▲ 25.0
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	50.0
非製造業計	4.2	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 29.2	0.0	▲ 54.2	▲ 20.8
全体	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 18.0	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 4.0	▲ 40.0	▲ 26.0

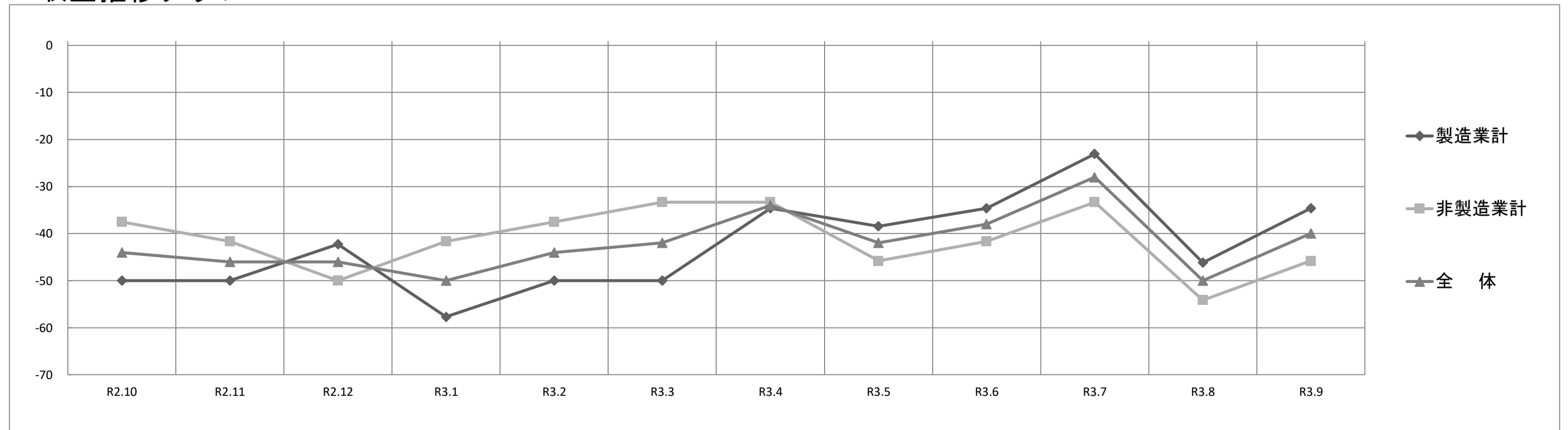
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 34.6
卸売業	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	▲ 100.0	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 66.7	▲ 66.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8
全体	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 46.0	▲ 50.0	▲ 44.0	▲ 42.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 38.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 40.0

《収益推移グラフ》

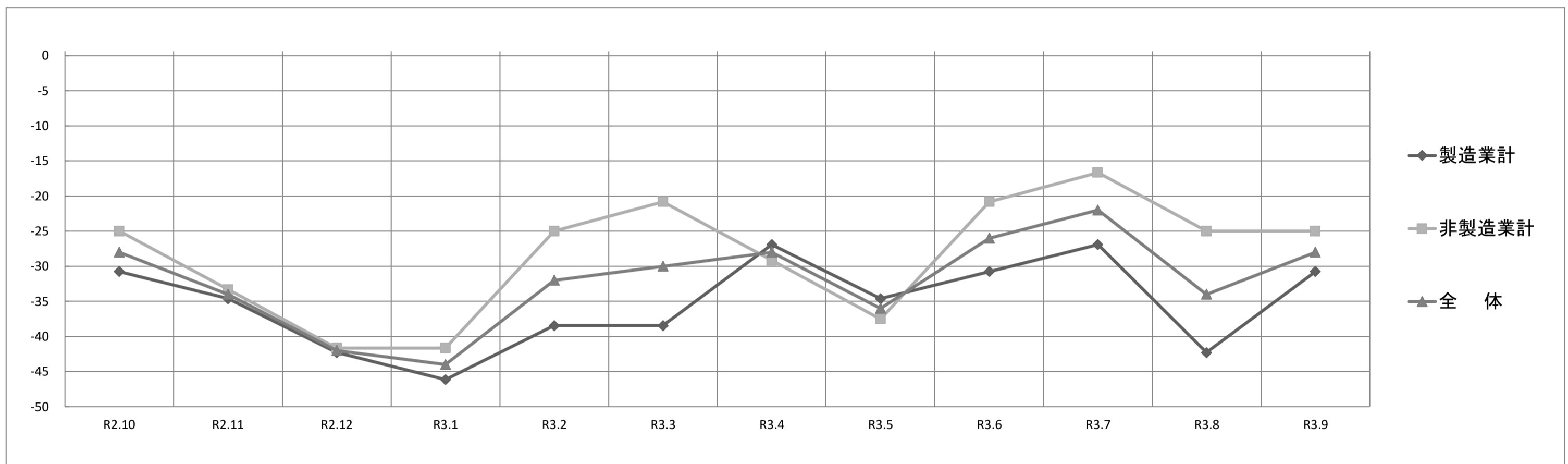


D I 値推移表 (R2. 10月 ~ R3. 9月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 42.3	▲ 30.8
卸売業	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 37.5	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0
全体	▲ 28.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 36.0	▲ 26.0	▲ 22.0	▲ 34.0	▲ 28.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 30.8
卸売業	25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 100.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 58.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 45.8
全体	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 32.0	▲ 38.0	▲ 40.0	▲ 34.0	▲ 44.0	▲ 38.0

《景況推移グラフ》

